事故 報告書

フルーツ・シャトーよいち

施設長	副施設長	援助課長	医務課長	相談員	係長	担当

ﾌﾘｶﾞﾅ	●●●●	男 ㊛	要介護３	移動	□独歩 □歩行器 □杖歩行 ▣車椅子 □その他（　　）
本人氏名	●●●● 様	93 歳			
報告者	●●●●		発生(発見)日時	平成28年07月20日(水)　14:00　分頃	

場所	▣居室 □ﾎｰﾙ □浴室 □ﾄｲﾚ □拠点ﾌﾛｱ □廊下 □階段 □屋外 □送迎車内 □その他（　　）
状況	□転倒 □転落 □誤食 □誤嚥 □誤薬 □ﾄﾗﾌﾞﾙ □単独外出 □介護中 □不明 ▣その他（居室ベッドから起き上がり靴を履こうとした際ずり落ちした。　）
	看護師より●●●氏がベッドに寄りかかるように床に座っていると連絡あり。訪室するとベッドに寄りかかり立ち膝の状態で床に座っている。靴下は履いていない。何をしようとしたのか伺うと「靴を履こうとしたらこっから滑って転んだんだ」との事。靴を履いて何をしようとしたのか伺うと「トイレに行こうと思ったんだ。ごめんね。トイレ行きたいから起こして」と話す。職員２名で起こしトイレ誘導する。 最終排尿１２時５０分。１３時５０分ご家族お帰り後、トイレ誘導声掛けするも尿意無との事。ベッド臥床し何か用事がある際はナースコールで呼んでもらうよう本人に小さいナースコールを手渡し退室している。 １４時１０分　副施設長へ口頭報告。 １４時３０分　施設長へ外線にて報告。 ２１時００分　●●●援助係長へ文書にて報告。
症状	▣無傷 □表皮剥離 □擦過 □切傷 □内出血 □火傷 □腫れ □変色 □熱感 □その他（特に変わり無く様子観察する。　）　部位：
	トイレ誘導時看護師と一緒に身体観察するも腫れ、変色、痛み見られず。また、立位方向転換状態ゆっくりも支えなく自力で車椅子からトイレに座られる。
対応	▣様子観察 □湿布 □冷却 □吐かせる □吸引 □止血 □受診 □その他（　　）
	身体観察するも腫れ、変色無く痛みの訴え無し。トイレ誘導時自力で方向転換出来ている為そのまま経過観察する。 バイタル測定促すも「トイレに行きたい。なんともないから測らなくていいよ」との事。身体的に問題なく測定せず観察する。
ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝ	体温　℃　血圧　／　mmHg　脈拍　回/分　SP02　%　計測時間
要因・原因	□見守り不足 □知識・技術不足 □ﾙｰﾙ不遵守 □情報不足 ▣環境・設備 □設備・点検不足 □人為的問題 □その他（　　）
	・本日入院先より退院されていた。病院と環境が違う為自分で立つことが出来ると思ったものと推測される。 ・入院前までは歩行器自操だったが、退院後は車椅子誘導に身体レベルが下がっていた為、本人了承の上歩行器を撤去、コール促しの為車椅子を本人の近くに設置していなかった。
事故防止対策	・ベッド誘導時はその都度ナースコール促しをする。 ・物忘れがある為、自分で立った際、ふらついても腰掛けられるよう車椅子をベッド昇降口にセットする。 ・日中は３０分毎、夜間は１時間毎の巡回をし、転倒されていないか確認をする。 ・夜間自力でトイレに行った際、転倒リスクを減らせるようベッドそばにポータブルトイレを設置し腰掛けられる様にする。 ・何かに掴まって立ち上がれるようベッド正面に車椅子をセットする。 ・普段使用している大きい方のナースコールが枕もとに届かない為、夜間枕もとでコール出来るよう居室内配置換えをする。
	ｶﾝﾌｧﾚﾝｽの必要性について　▣不要 □必要
家族への説明	平成28年07月20日(水)　説明方法　□面会 ▣電話　説明職員　●●●●
	家族氏名　●●●様・●●●様　続柄　義理弟・嫁
	ご家族お帰り後自力でトイレに行こうとベッドよりずり落ちされた事説明、謝罪する。また、今後は身体的対応も変わるので模様替え等の環境整備も検討させて頂きたい事お伝えする。　ご家族より「帰る前に本人にボタン押して人呼ぶようきつく言って帰ってきたんです。物忘れが多くなって来たのでこれからは何かあってもおかしくないと思います。そちらの良いようにお願いします。迷惑かけますが宜しくお願いします。」と話し頂く。